

第9回 エコプロダクツ大賞



JF シェルナースの取組が農林水産大臣賞を受賞

平成 24 年 12 月 13 日東京ビッグサイトにて開催された「第 9 回エコプロダクツ大賞」の「エコサービス部門」において、JF シェルナースの取組『貝殻魚礁による里海づくりシステムの普及』で、JF 全漁連が「農林水産大臣賞」を受賞しました。



表彰式の様子

賞状を受け取る JF 全漁連 吉田専務 (左)



受賞の事例発表会

JF 全漁連 購買事業部 三下次長

2012 (平成24) 年12月14日 (金曜日)

水産経済新聞



全漁連に大臣賞授与

エコプロダクツ大賞の表彰式が、12月13日、東京ビッグサイトで開かれた。JF 全漁連の「貝殻魚礁による里海づくりシステムの普及」が、エコサービス部門で農林水産大臣賞を受賞した。表彰式には、吉田専務が出席した。



エコプロダクツ大賞で農水大臣賞受賞/JF全漁連 貝殻魚礁による里海づくりシステムの普及

第9回エコプロダクツ大賞(主催:エコプロダクツ大賞推進協議会)の表彰式が12月13日、東京ビッグサイトで開かれた。JF 全漁連は、「貝殻魚礁による里海づくりシステムの普及」によりエコサービス部門で農水大臣賞を受賞。表彰式には、吉田専務が出席した。



表彰式を受け取る吉田 JF 全漁連専務 (左)

2012年12月17日 (月曜日)

水産タイムス



エコプロダクツ大賞 JF全漁連と日水が受賞

エコプロダクツ大賞の表彰式が、12月13日、東京ビッグサイトで開かれた。JF 全漁連の「貝殻魚礁による里海づくりシステムの普及」が、エコサービス部門で農林水産大臣賞を受賞した。表彰式には、吉田専務が出席した。

農林水産大臣賞

名称

貝殻魚礁による里海づくりシステムの普及

会社名・事業所名

全国漁業協同組合連合会

豊かな里海づくり



貝類養殖で発生する貝殻の活用



漁業者による基質製作



豊かな里海の形成



環境教育・食育イベント



貝殻魚礁（32 都道府県で使用）

出品者 アピール

海における漁業生産性や生物多様性の向上を目的に、貝殻を有効利用した人工魚礁などを推進するサービスで、豊かな漁場づくりなどに活用されている。貝殻魚礁は、2011年度までに32都道府県に約9,500基が使用され、およそ5,800 tの貝殻が有効利用された。

貝殻魚礁は、カキなどの貝殻をメッシュパイプに詰めた基質を組上げたもので、魚介類のえさ場や隠れ場、産卵場、藻場の着定基質などとして優れた機能を発揮する。特に魚介類のえさとなるエビ・カニ類などの増産効果が科学的に実証されており、生態系の底上げによる水産資源の増大に寄与する里海づくりのための効果的なシステムである。サービスのポイントは、①漁業者による貝殻基質製作とこれによる里海づくり意識高揚、②漁業者と連携した効果調査の実施、調査結果の共有、などが挙げられる。

また、全国の漁業関係者らを対象とした研修会の開催、環

境教育の実施、食育関連イベントでの展示、貝殻お絵かきコーナーの設営など、市民に対するPR活動も積極的に行っている。

評価

本取組の特色として、通常は廃棄物処分されている貝殻を有効利用していること、「シェルナース基質」は漁業者が漁閑期を利用して自らの手で製作していること、漁業者と協力して設置後のモニタリング調査や技術の改善を図っていることがあげられる。このように、廃棄物の軽減を図り、漁業者の雇用を創出し、漁業関係者と一体となって技術開発を進め、豊かな海づくりに対する意識を向上するとともに、調査結果（映像等）を広く公開している点について高く評価される。また、貝殻利用と豊かな海づくりに関する研修会の開催、製品を利用した環境教育の実施、食育関連のイベントで製品やポスターの展示などの活動を全国で積極的に展開していることも評価した。